

2) 定点モニタリング

ヒアリやアルゼンチンアリなどの、貨物等に紛れて非意図的に導入される特定外来生物については、侵入の監視や早期発見が重要な対策となる。本業務では、これらの特定外来生物の国内への侵入実態を把握するため、空港及び港湾において踏査によるモニタリングを実施した。

①モニタリング方法

モニタリング対象種は特定外来生物のアリ類4種（アカカミアリ、ヒアリ、コカミアリ、アルゼンチンアリ）とその他のアリ類とした。モニタリングは特定外来生物等を所定の手続きを踏んだ上で輸入できる指定港4空港と、外貿輸入貨物量と入港船舶隻数（外航）を基準に選出した港湾等、合計21地点で実施した（表1）。また、モニタリング地点で確認されたアリ類の詳細を示した（表2）。

各地点ではコンテナターミナルや青果、木材の取扱いのある地区周辺など、あらかじめ決めておいた経路等をゆっくりと歩きながら、対象種を目視で確認し、記録した。目視の際は、公園、緑地、道路周辺の植込みや建築物や塀の割れ目等の人工物に注意を払った。踏査距離は1人1日あたり10～25km程度とした。必要がある場合は対象種の採集を行い、液浸標本とした。なお、特定外来生物を確認した場合は、その生息場所周辺での分布状況等をできるだけ正確に把握するよう努めた。

表1 モニタリング地点一覧の概要

地域	調査地点 (調査開始年)	外貨輸入貨物量 (千トン)	入港船舶数 (外航) (隻)	調査月日	踏査距離 (km)	特定外来生物の生息状況	生息が確認されたその他の外来種
関東	成田国際空港 (2010～)	—	—	9月4日	6.8	—	—
	木更津港 (2011～)	46,050	1,332	8月28日	20.1	—	—
	千葉港 (2010～)	80,693	4,241	8月28 - 29日	61.9	—	インドオオゾアアリ
	東京港 (2010～)	33,888	6,154	6月21日	40	2010年の環境省の調査でアルゼンチンアリの発生を確認。その後、継続して確認されている。	—
	川崎港 (2011～)	50,762	2,675	7月27日	41.7	—	—
	横浜港 (2010～)	45,154	10,635	11月12日	31.5	前年度確認されたアルゼンチンアリは確認されず	ケブカアメイロアリ
	清水港 (2011～)	6,346	1,707	9月6日	22.9	—	—
関西	三河港 (2011～)	2,596	1,185	9月22日	11.3	アルゼンチンアリの発生確認は2005年。2011年以降、環境省の調査で継続して確認されている。	—
	蒲郡港 (三河港) (2011～)	2,596	1,185	9月22日	13.2	—	ケブカアメイロアリ
	中部国際空港 (2010～)	—	—	9月19日	10.9	—	—
	名古屋港 (2010～)	80,652	8,818	9月20 - 21日	84.2	—	—
	関西国際空港 (2010～)	—	—	10月9日	7.2	—	—
	大阪港 (2010～)	27,876	5,668	11月9日	35.5	アルゼンチンアリの発生確認は2007年。2012年には新たな発生地を確認。	インドオオゾアアリ
	神戸港 (2010～)	27,097	7,248	11月6 - 8日	68.3	アルゼンチンアリの発生確認は1999年。2010年以降、環境省の調査で継続して確認されている。	—
九州	須磨海浜公園 (2012～)	—	—	11月7日	19	2012年にアルゼンチンアリの発生を新たに確認。	—
	福岡空港 (2010～)	—	—	10月17日	18.2	—	ケブカアメイロアリ
	博多港 (2010～)	11,464	4,938	10月19日	25.1	—	インドオオゾアアリ
	佐世保港 (2012～)	214	69	10月18日	20.5	—	インドオオゾアアリ
	伊万里港 (2012～)	488	307	10月18日	16.1	—	—
	那覇港・那覇空港 (2010～)	862	363	12月19 - 20日	51.6	—	ケブカアメイロアリ・ヒゲナガアメイロアリ
	石垣港 (2010～)	65	596	12月20日	29.7	—	ヒゲナガアメイロアリ

* 外貨輸入貨物量及び入港船舶数は国土交通省の「港湾統計 (年報) 平成23年」に基づく。

②モニタリング結果

21 地点で合計 635.7km を踏査した。その結果、東京港、三河港、大阪港、神戸港及び兵庫県須磨海浜公園の 5 地点において、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリが生息していることを確認した（表 1）。また、これら以外の 17 地点では、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。さらに、確認された全てのアリ類について、調査地点ごとに出現状況をまとめた（表 2）。

アルゼンチンアリの生息が確認された地点のうち、今回のモニタリング調査が新発見となるのは大阪港住之江区の 1 地点である。残りの 3 地点（東京港城南島、三河港明見埠頭並びに神戸港摩耶埠頭、ポートアイランド及び神戸市中央地区）では以前からもアルゼンチンアリの生息が報告されており、今回のモニタリング調査によりアルゼンチンアリが引き続いて生息していることや分布を拡大していることを確認した。また、兵庫県須磨海浜公園については、事前にアルゼンチンアリ確認の情報提供を受け、その定着状況を確認した。一方、横浜港本牧埠頭において、前年度のモニタリングではアルゼンチンアリが確認されていたが、今回のモニタリングでは確認されなかった。これは、今年度のモニタリング調査の直前にベイト式殺虫剤による防除が行われた結果によるものと考えられる

以下に、各地点におけるモニタリング結果を取りまとめた。なお、確認されたアリ類のうち外来と考えられる種については和名に続けて「(外)」と記した。

ア. 成田国際空港

- ・踏査日 2012 年 9 月 4 日（曇り時々雨、最高気温 30.8℃ 最低気温 22.2℃）
- ・踏査経路 図 2 を参照
- ・踏査距離 6.8km
- ・踏査人員 2 名

横浜植物防疫所成田支所の協力を得て成田空港周辺、植物防疫所検査場周辺及び日本通運株式会社成田空港支店輸入生鮮センター敷地内においてアリ類の調査を行うとともに、担当職員への特定外来生物のアリ類の侵入防止についての情報提供と警戒要請を行った。また、輸入生鮮貨物の集積地である日本通運株式会社成田空港支店輸入生鮮センターの敷地内において調査を実施した。

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオハリアリ、ヨツボシオオアリの合計 9 種のアリ類の生息を確認した。

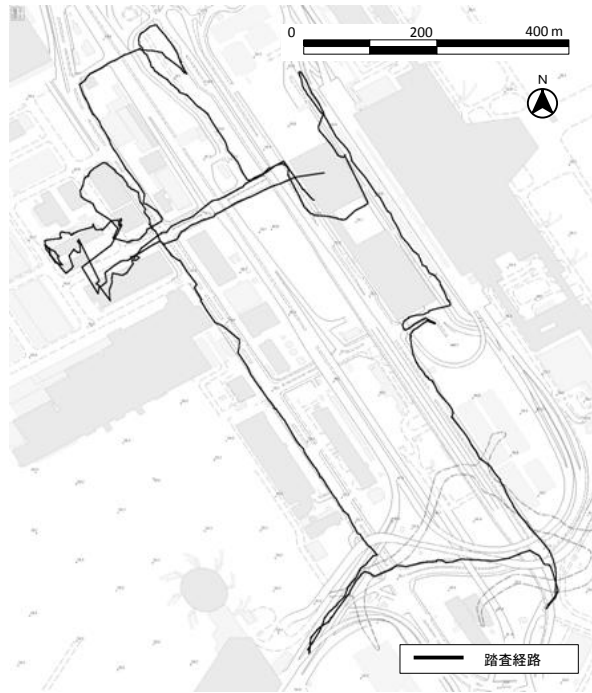


図2 成田国際空港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

イ. 木更津港

- ・踏査日 2012年8月28日(晴れ、最高気温 32.5℃ 最低気温 23.7℃)
- ・踏査経路 図3を参照
- ・踏査距離 20.1km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。

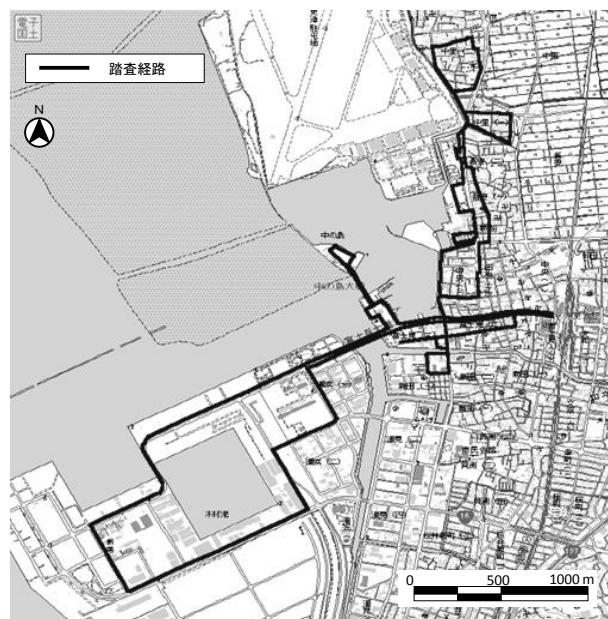


図3 木更津港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ウ. 千葉港

A. 袖ヶ浦埠頭

- ・踏査日 2012年8月28日（晴れ、最高気温 32.5℃ 最低気温 23.7℃）
- ・踏査経路 図4を参照
- ・踏査距離 16.5km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。

その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、トビイロケアリ、キイロシリアゲアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオハリアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。

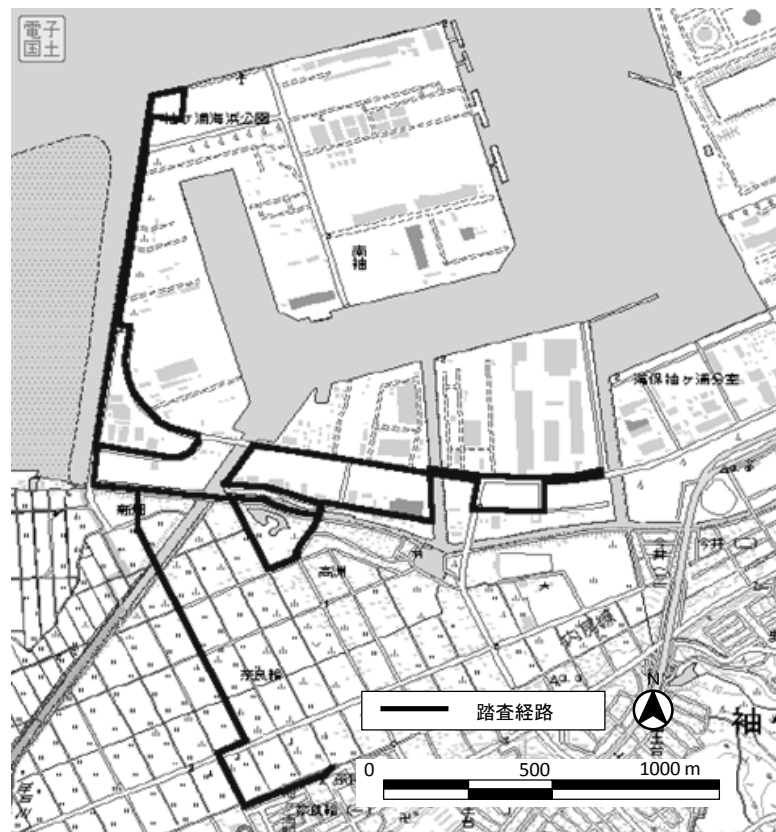


図4 千葉港踏査路(袖ヶ浦埠頭)

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

B. 美浜地区

- ・踏査日 2012年8月29日（晴れ、最高気温 32℃ 最低気温 26.5℃）
- ・踏査経路 図5を参照
- ・踏査距離 45.4km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、インドオオズアリ（外）、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリ、の合計10種のアリ類の生息を確認した。

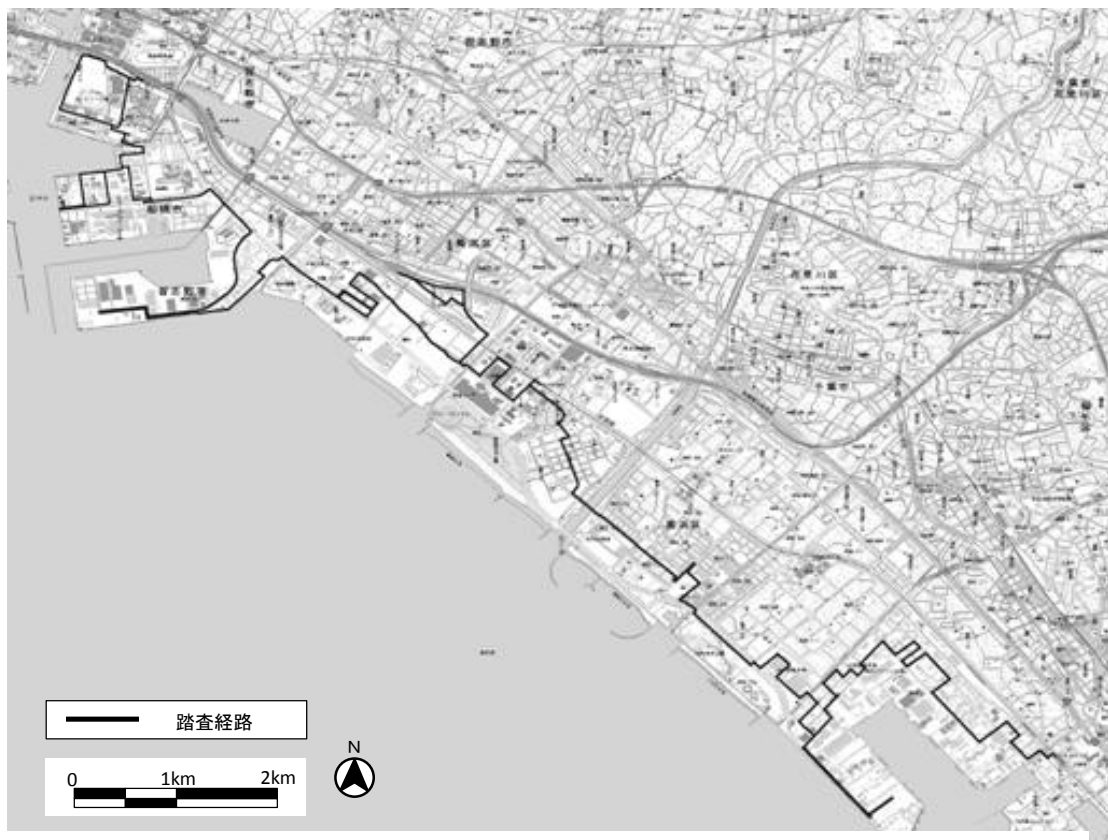


図5 千葉港踏査路(美浜地区)

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

エ. 東京港（大井埠頭・城南島）

- ・踏査日 2012年6月21日（曇り、最高気温 26.5℃ 最低気温 21.5℃）
- ・踏査経路 図6を参照
- ・踏査距離 49.4km
- ・踏査人員 3名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリの生息を確認した。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、アメイロアリ、キイロシリアゲアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオシワアリ、ムネボソアリ、オオズアリ、オオハリアリ、ヨツボシオオアリの合計 15 種のアリ類の生息を確認した。

アルゼンチンアリの生息が確認された地点は、城南島4丁目付近であった。アルゼンチンアリの生息範囲は、昨年度のモニタリング調査よりやや縮小した印象を受けるものの、道路脇の植え込みの周辺などで活発に行動するアルゼンチンアリが観察された。本地域では、平成 24 年度東京都大田区内アルゼンチンアリ防除業務及び平成 24 年度東京都立城南島海浜公園内アルゼンチンアリ生息状況調査業務（発注元：環境省関東地方環境事務所）に基づいた、アルゼンチンアリの生息状況の把握と防除が現在実施されているところである。

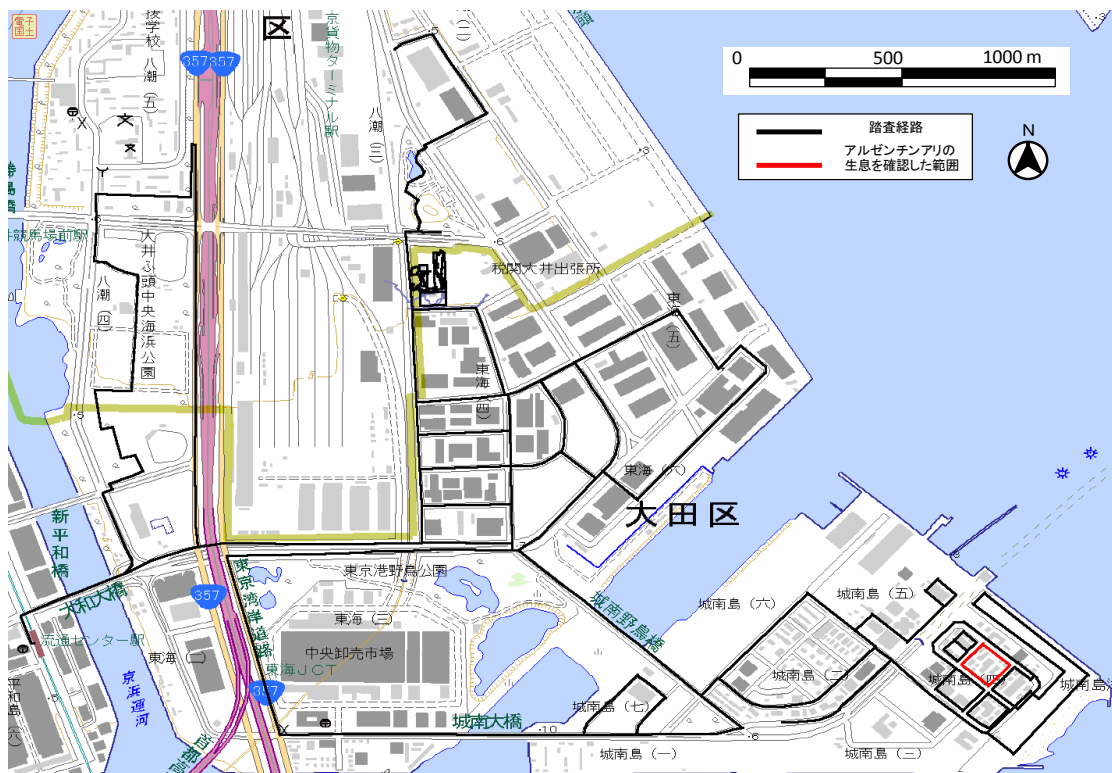


図6 東京港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

オ. 川崎港

- ・踏査日 2012年7月27日（晴れ、最高気温 33.6℃ 最低気温 26.2℃）
- ・踏査経路 図7を参照
- ・踏査距離 41.7km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。

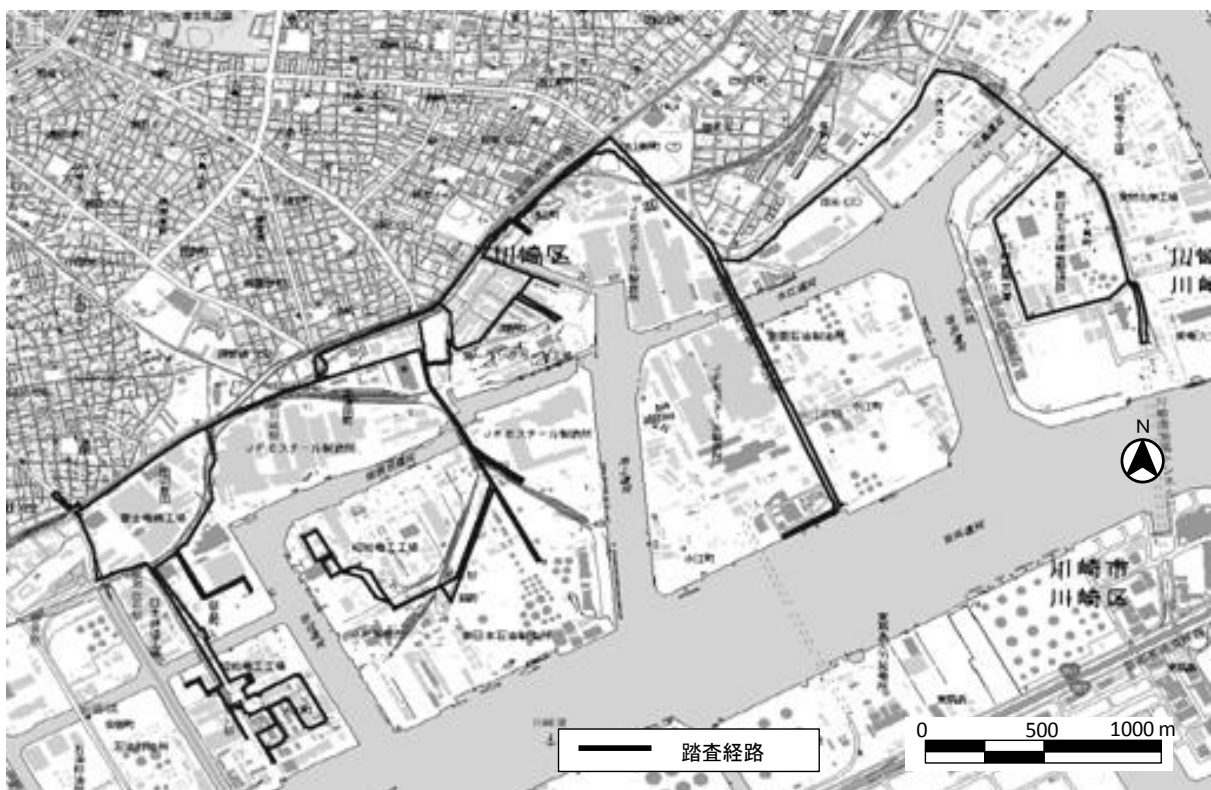


図7 川崎港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

カ. 横浜港（本牧埠頭）

- ・踏査日 2012年11月12日（晴れ、最高気温 20.9℃ 最低気温 11.9℃）
- ・踏査経路 図8を参照
- ・踏査距離 31.5km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、前年度に確認され特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリの生息は確認されなかった。その他の対象種として、ケブカアメイロアリ(外)、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ルリアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリ、オオハリアリの合計10種のアリ類の生息を確認した。

本牧埠頭では、2007年にアルゼンチンアリの生息確認を受けて、根絶に向けた防除活動が2008年より開始され、ベイト剤、フェロモン剤及び液剤を併用した防除活動が実施された。その結果、アルゼンチンアリの生息範囲は縮小し、2010年7月に一時的に生息が確認された以降の生息報告はなかった。しかしながら、前年度の本モニタリングにより防除を免れて生き残ったと考えられるアルゼンチンアリが確認されていた（横浜市中区本牧埠頭 A 突堤、図7矢印）。今回、アルゼンチンアリは確認されなかったがこれは、今年度のモニタリング調査の直前にベイト剤による再度の防除が行われた結果によるものと考えられる。

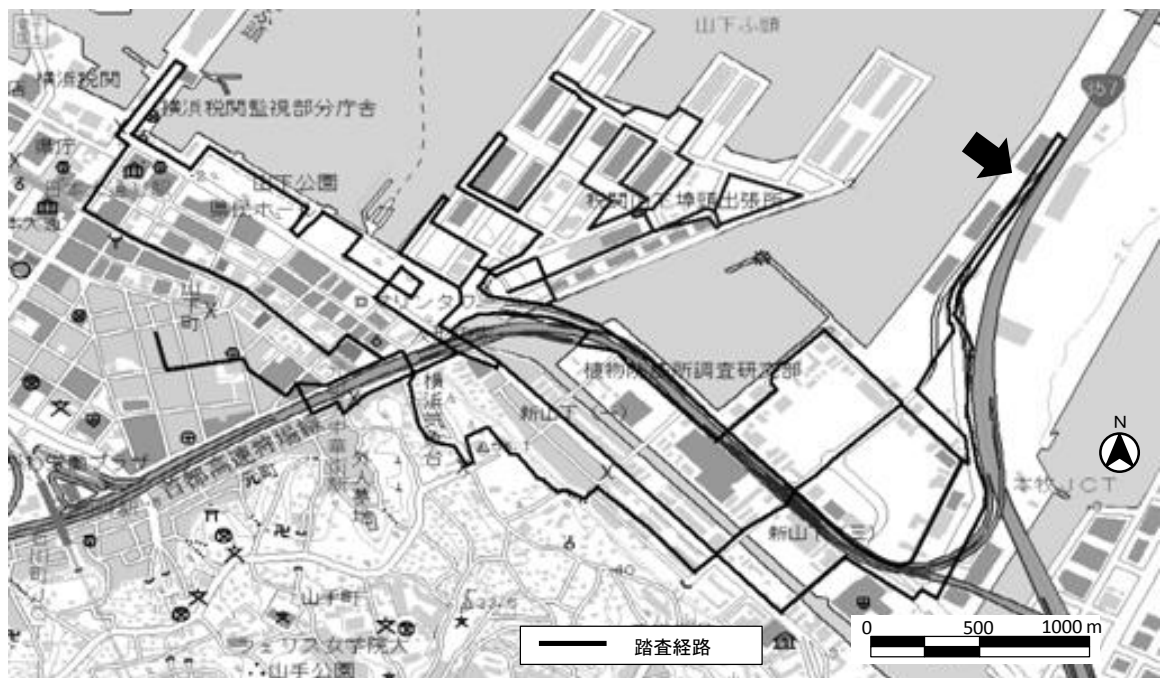


図8 横浜港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

キ. 清水港

- ・踏査日 2012年9月6日（晴れのち曇り、最高気温 29.2℃ 最低気温 22.5℃）
- ・踏査経路 図9を参照
- ・踏査距離 22.9km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、サクラアリ、ルリアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ハダカアリ、オオハリアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。



図9 清水港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ク. 三河港 明海埠頭

- ・踏査日 2012年9月22日（晴れ、最高気温 28.1℃ 最低気温 19.7℃）
- ・踏査経路 図 10 を参照
- ・踏査距離 11.3km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリの生息を確認した。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、サクラアリ、ルリアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ハリナガムネボソアリ、オオズアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。

アルゼンチンアリの生息範囲は昨年 비해拡大傾向にあった。生息範囲内におけるアルゼンチンアリの生息密度は高く、歩道と車道の境界部に堆積した落葉中や歩道と民間施設の境界部の植え込みの周辺及び緑地林内において行列をなして行動していることが確認された。また、前年度同様に植え込み周辺の地面や落葉中ではもとより、キョウチクトウ、シャリンバイなどの植栽木の幹や枝、葉などの上にも多数のアルゼンチンアリが活発に行動している様子が確認され、さらにアブラムシ類に随伴して保護する行動も認められた。生息範囲の境界付近では優占種がトビイロシワアリにくっきりと変わる地点があり、の営巣等の競合が示唆された。

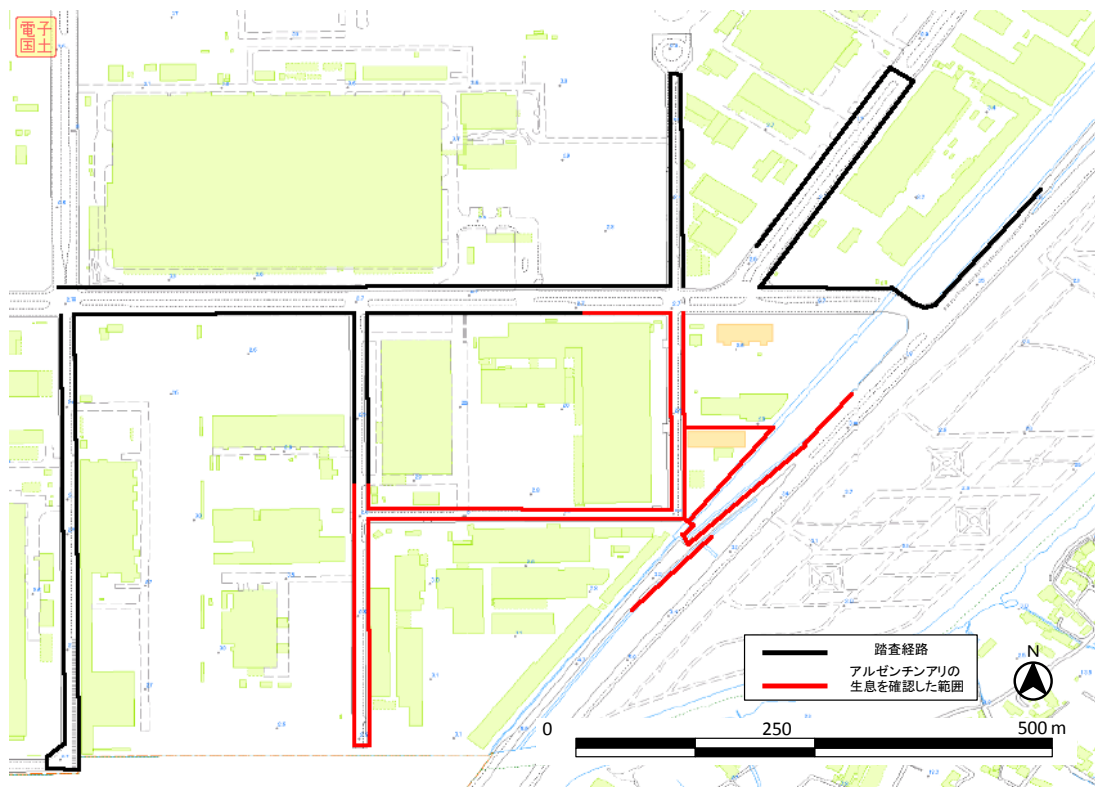


図 10 三河港明海埠頭におけるアルゼンチンアリ生息確認範囲

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ケ. 蒲郡港（三河港）

- ・踏査日 2012年9月22日（晴れ、最高気温 28.1℃ 最低気温 19.7℃）
- ・踏査経路 図 11 を参照
- ・踏査距離 13.2km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ケブカアメイロアリ（外）、クロオオアリ、クロヤマアリ、サクラアリ、ルリアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ハリナガムネボソアリ、オオハリアリの合計 10 種のアリ類の生息を確認した。

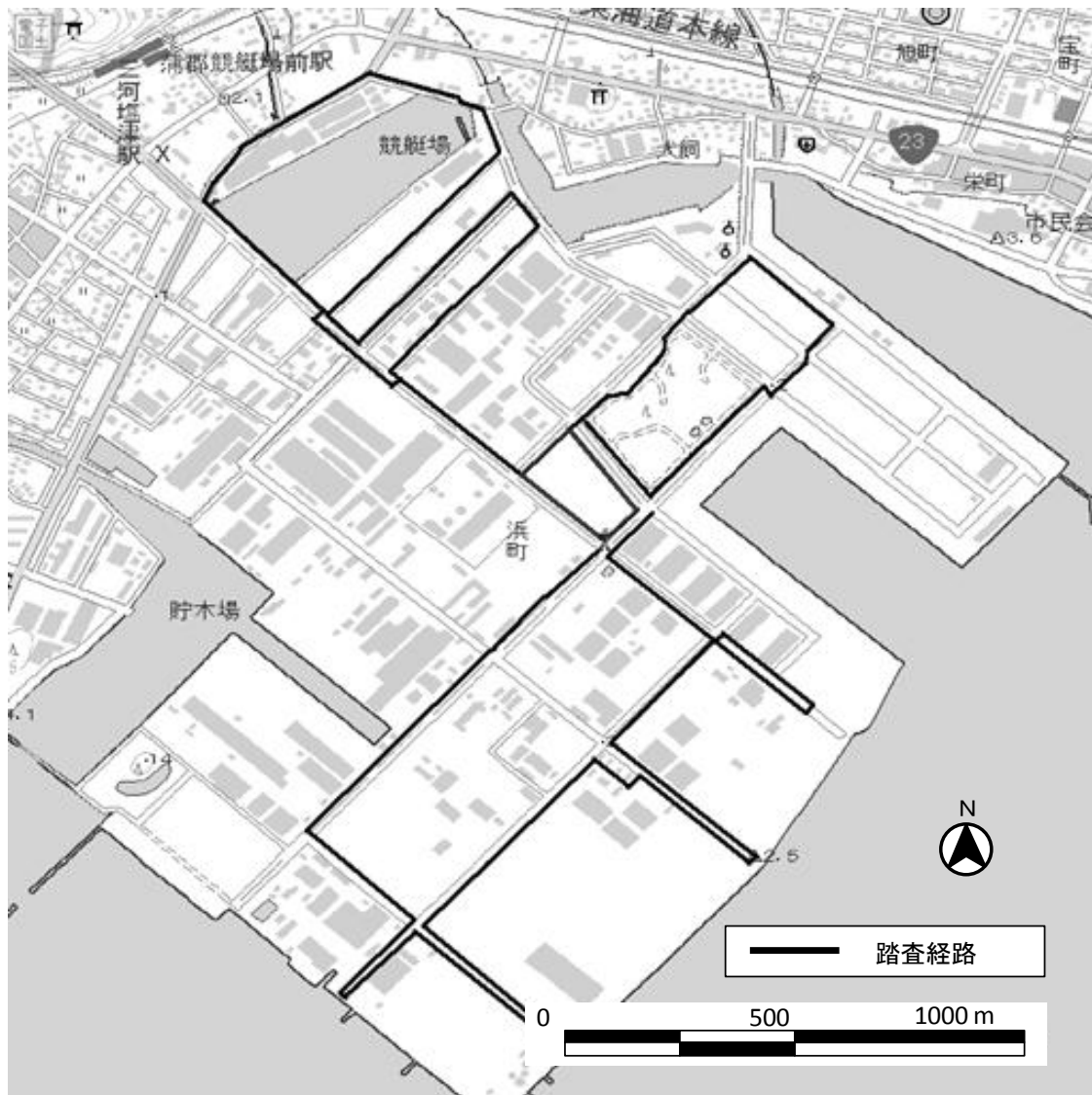


図 11 蒲郡港踏査路

（国土地理院の電子国土 web システムを使用した）

コ. 中部国際空港

- ・踏査日 2011年9月19日(曇り、最高気温29.4℃ 最低気温24.3℃)
- ・踏査経路 図12を参照
- ・踏査距離 10.9km
- ・踏査人員 1名

名古屋植物防疫所中部空港支所の協力を得て検査場周辺においてアリ類の調査を行った。モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、クロヤマアリ、トビイロケアリ、ハリブトシリアゲアリ、トビイロシワアリ、オオシワアリの合計5種のアリ類の生息を確認した。



図12 中部国際空港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

サ. 名古屋港 (A: 堀川、B: 潮見埠頭・船見埠頭、C: 飛島埠頭・貯木場)

- ・踏査日 2012年9月20日 (晴れのち曇り、最高気温 30.4℃ 最低気温 21.9℃)
2012年9月21日 (雨のち晴れ、最高気温 29.5℃ 最低気温 20.2℃)
- ・踏査経路 図13～15を参照
- ・踏査距離 84.2km
- ・踏査人員 3名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、アメイロアリ、ルリアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ハリナガムネボソアリ、オオズアリ、オオハリアリの合計12種のアリ類の生息を確認した。

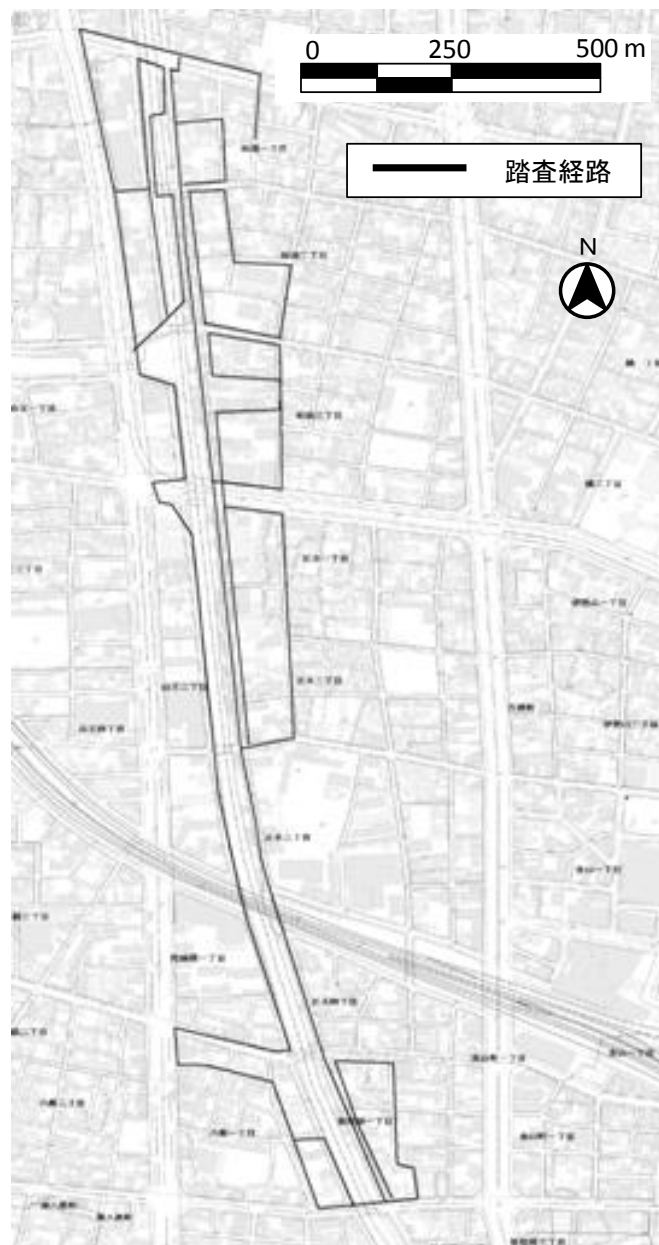


図13 名古屋港踏査路(A:堀川)

(国土地理院の基盤地図 2500 を使用した)

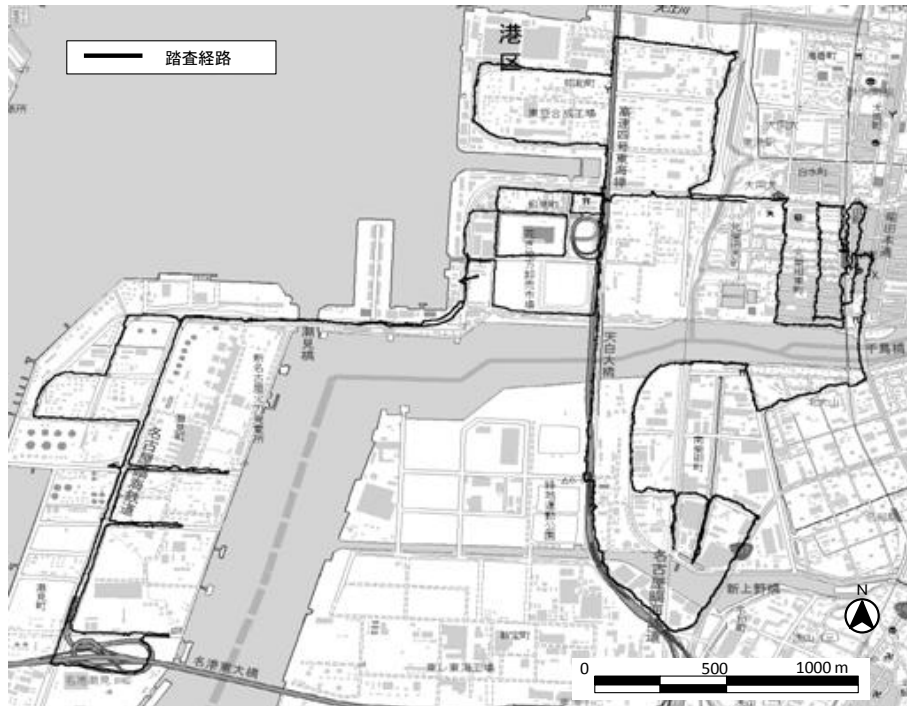


図 14 名古屋港踏査路(B: 潮見埠頭・船見埠頭)

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

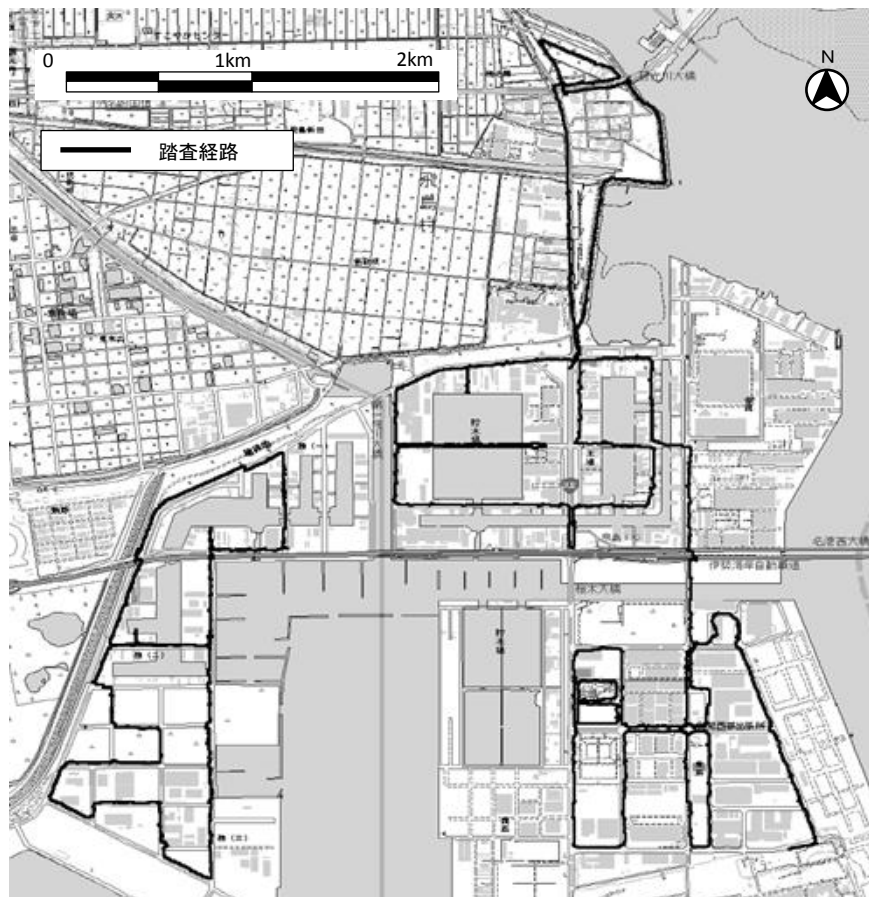


図 15 名古屋港踏査路(C: 飛島埠頭・貯木場)

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

シ. 関西国際空港

- ・踏査日 2012年10月9日（曇り、最高気温 25.1℃ 最低気温 18.9℃）
- ・踏査経路 図 16 を参照
- ・踏査距離 7.2km
- ・踏査人員 1名

神戸植物防疫所関西空港支所の協力を得て検査場周辺においてアリ類のモニタリング調査を行った。

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、アメイロアリ、ルリアリ、ハリブトシリアゲアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ハリナガムネボソアリ、オオズアリ、オオハリアリの合計 11 種のアリ類の生息を確認した。

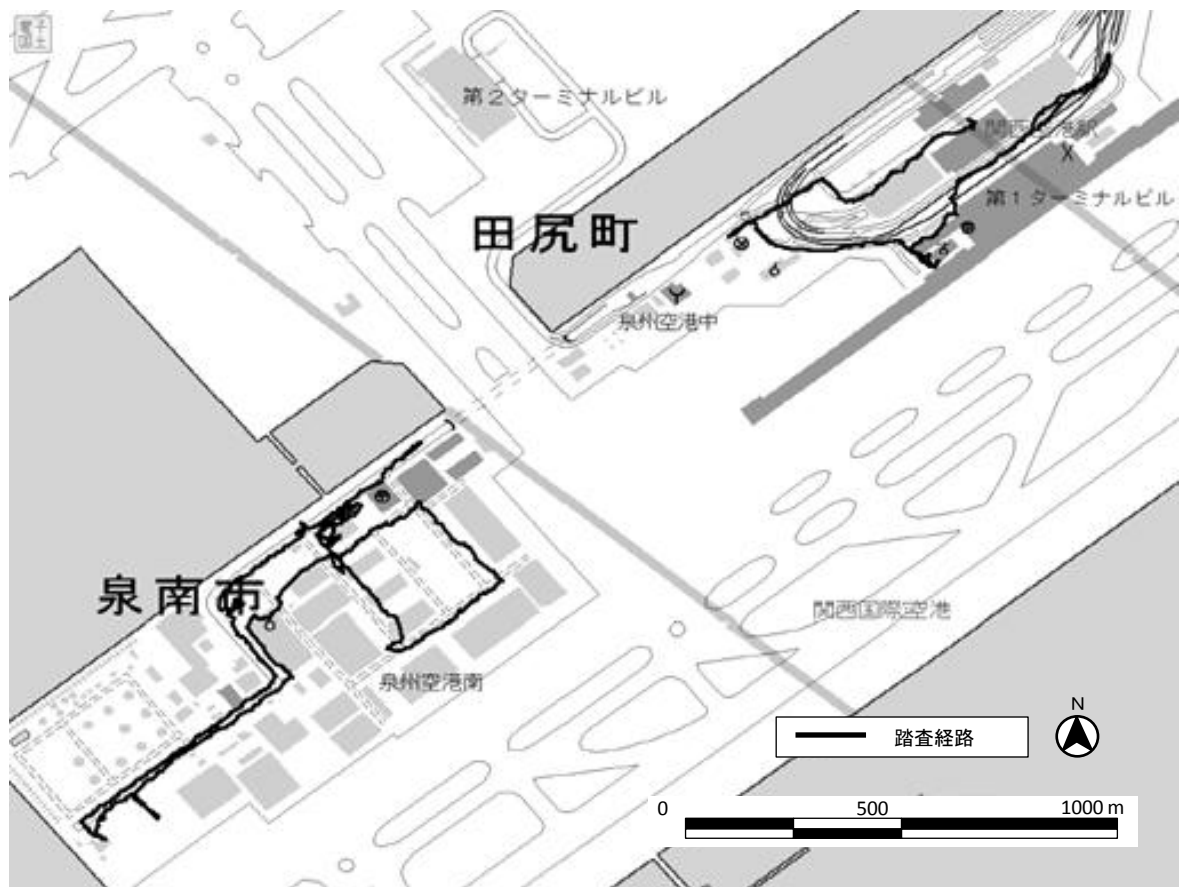


図 16 関西国際空港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ス. 大阪港（住之江区）

- ・踏査日 2012年11月9日（曇り、最高気温 20.2℃ 最低気温 9.6℃）
- ・踏査経路 図 17 を参照
- ・踏査距離 35.5km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリの生息を確認した。その他の対象種として、インドオオズアリ（外）、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ルリアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリ、オオハリアリの合計9種のアリ類の生息を確認した。

アルゼンチンアリの生息が確認された地点は、住之江区新北島4丁目付近であった。生息範囲内の環境は小学校などを含む住宅地で、道路脇の植え込みの周辺などで行動するアルゼンチンアリが観察された。しかし、木材加工業者の多い平林地区では確認されなかった。

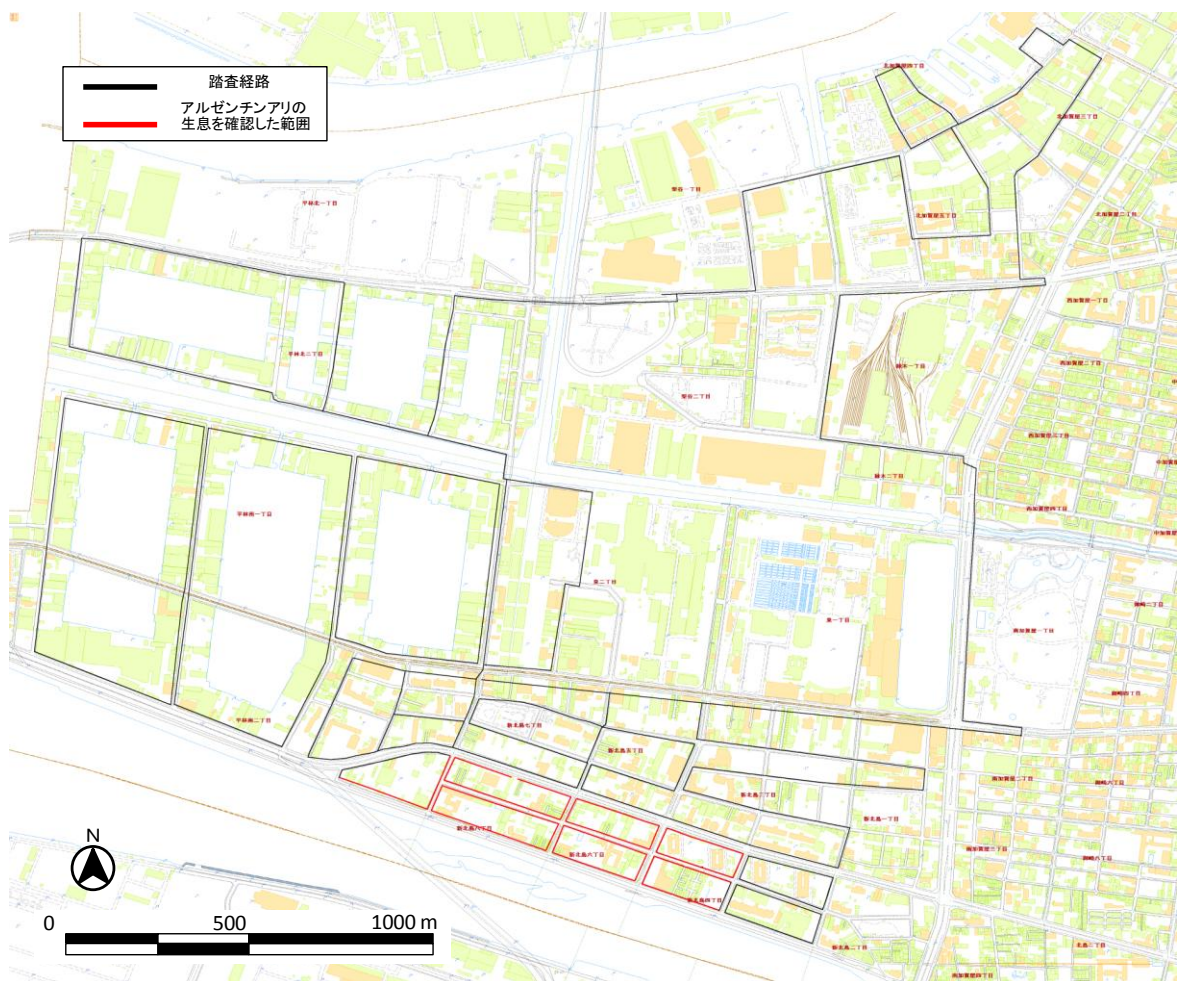


図 17 大阪港踏査路

（国土地理院の電子国土 web システムを使用した）

セ. 神戸港

- ・踏査日 2012年11月6日（雨のち晴れ、最高気温 20.4℃ 最低気温 13.3℃）
2012年11月7日（晴れ、最高気温 18.7℃ 最低気温 12.7℃）
2012年11月8日（晴れ、最高気温 19.1℃ 最低気温 12.4℃）
- ・踏査経路 図18～20を参照
- ・踏査距離 68.3km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、すでに定着が報告されている特定外来生物のアルゼンチンアリの生息を摩耶埠頭、ポートアイランド、神戸市中央地区において確認した。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、サクラアリ、ルリアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオズアリ、オオハリアリの合計10種のアリ類の生息を確認した。

A. 摩耶埠頭

モニタリングの結果、すでに生息が報告されている特定外来生物のアルゼンチンアリの生息を確認した。摩耶埠頭からアルゼンチンアリの生息が初めて確認されたのは2009年のことである。今回のモニタリング調査の結果では、前年度と比べ生息範囲の大きな拡大は確認されなかった。

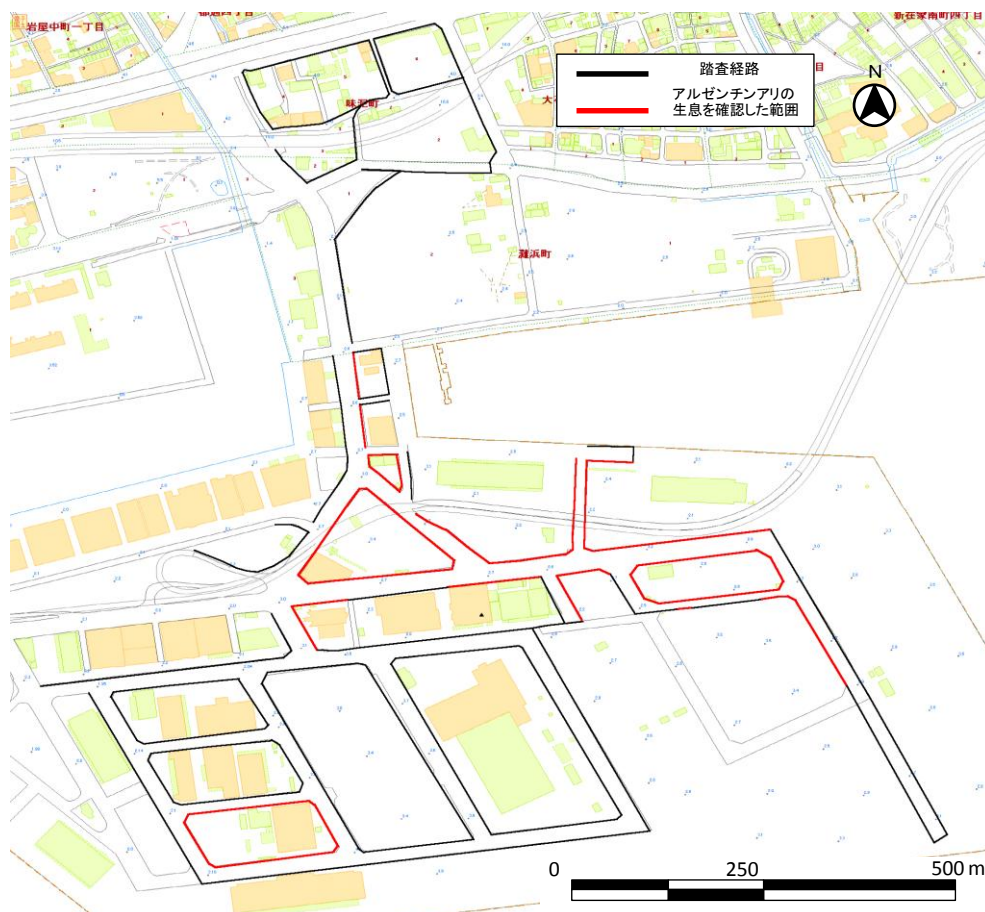


図18 神戸港摩耶埠頭におけるアルゼンチンアリ生息確認範囲

(国土地理院の基盤地図 2500 を使用した)

B. ポートアイランド

モニタリングの結果、すでに定着が報告されている特定外来生物のアルゼンチンアリの生息を確認した。前年度に踏査していないルートにおいても発生を確認し、アルゼンチンアリはポートアイランドの広い範囲に生息していることが確認された。特にポートアイランドの北部ではかなり高い密度で生息するアルゼンチンアリを確認した。

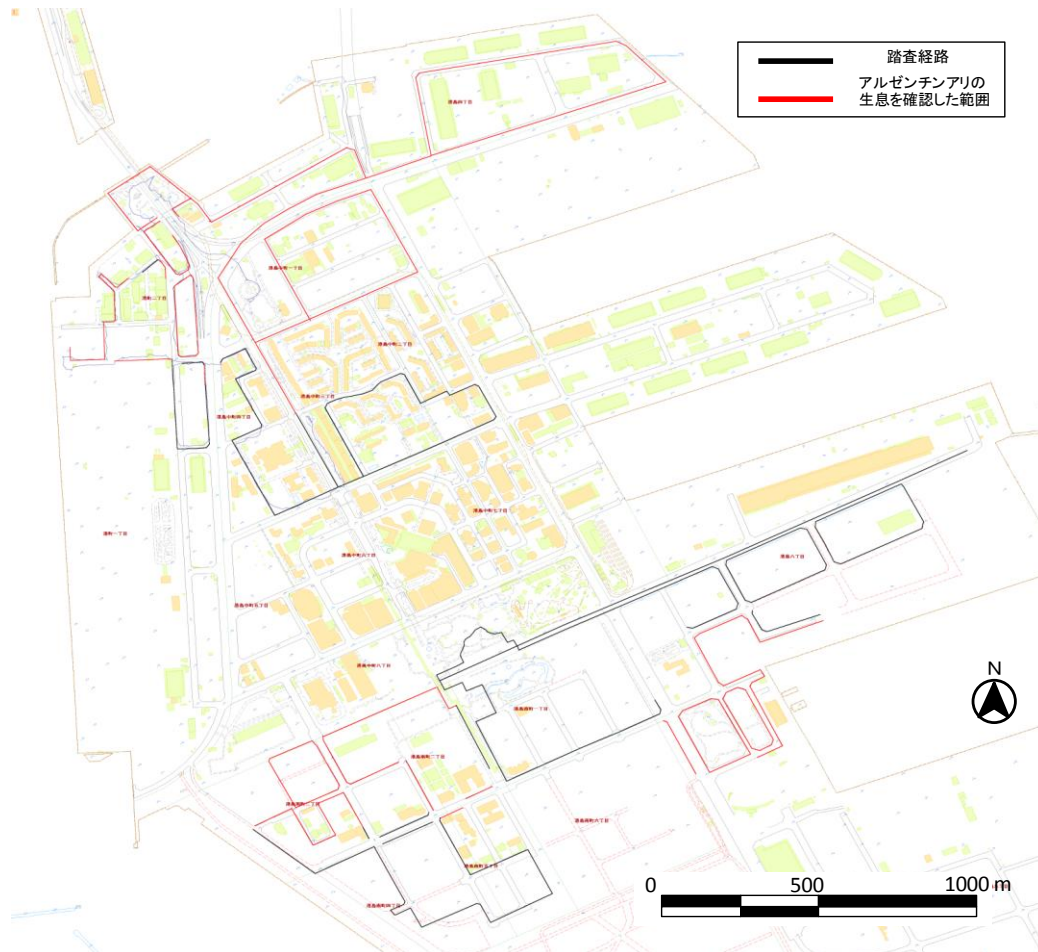


図 19 神戸港ポートアイランドにおけるアルゼンチンアリ生息確認範囲
(国土地理院の基盤地図 2500『神戸首部』、『神戸南部』を使用した)

C. 神戸市中央地区

モニタリングの結果、すでに定着が確認されている特定外来生物のアルゼンチンアリの生息を確認した。

アルゼンチンアリは海岸通の商業地区や波止場町の公園付近に生息していることが確認された。今回のモニタリング調査では、商業地区において密度は比較的lowく、波止場町の公園では多数のアルゼンチンアリが観察される等、発生傾向は前年度の調査結果と類似していたものの、国道2号沿いに分布の拡大が確認された。

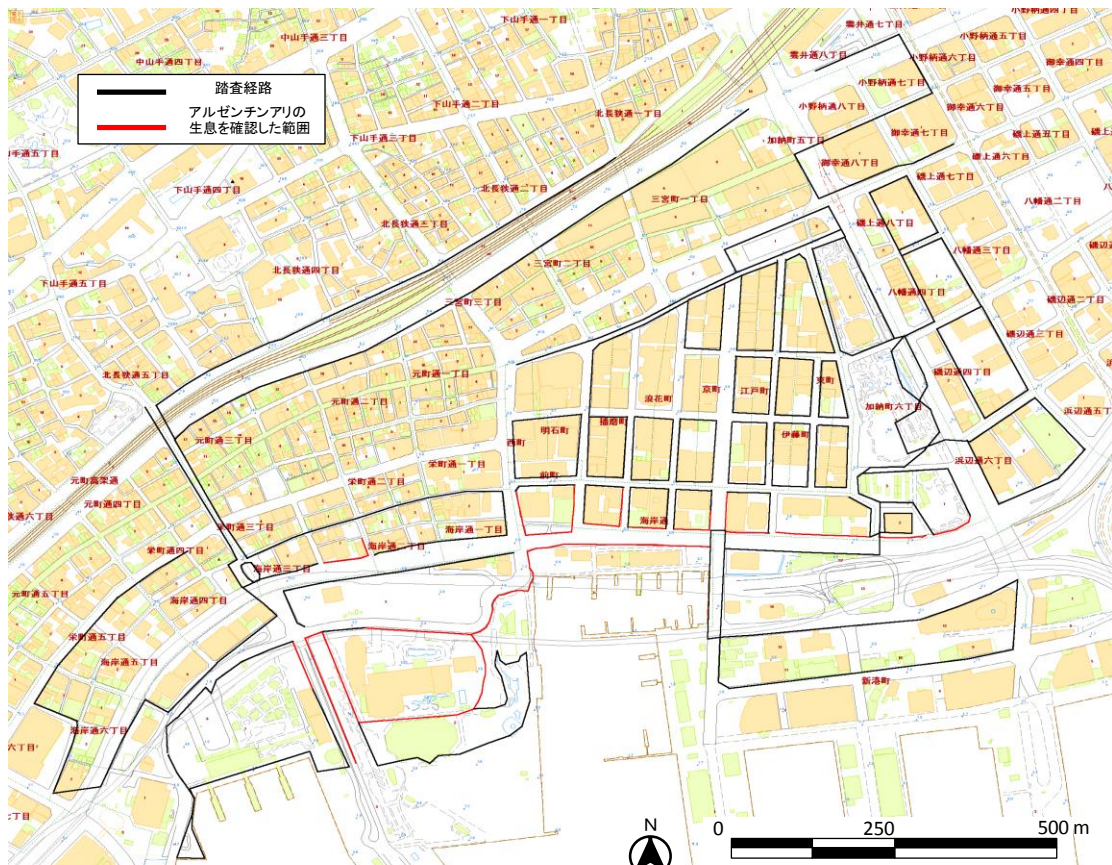


図 20 神戸港神戸市中央地区におけるアルゼンチンアリ生息確認範囲

(国土地理院の基盤地図 2500『神戸首部』を使用した)

ソ. 須磨海浜公園

- ・踏査日 2012年11月7日（晴れ、最高気温 18.7℃ 最低気温 12.7℃）
- ・踏査経路 図 21 を参照
- ・踏査距離 19km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリの生息を確認した。その他の対象種として、クロヤマアリ、オオズアリの合計2種のアリ類の生息を確認した。アルゼンチンアリの生息が確認された地点は、須磨海浜公園の東側、外浜町1丁目であった。生息範囲内は、主にヨット・釣り船等の船着場と住宅地であり、道路脇の植え込みの周辺などで行動するアルゼンチンアリが観察された。確認地点である外浜町1丁目は、ほぼ外周を海、河川に囲まれた埠頭のように飛び出した状態であり、地形的には遮断されているものの、ヨット・釣り船等の船着場の利用客や防災センター（消防署）のように不特定の地域との出入りが多い地域でもあり、非意図的な導入の供給源になりうる。他地域への分布拡大は主に国道2号線に出る道路と、須磨海浜公園を経由して広がってゆくと考えられ、今後これらの地点を中心とした監視を行い、警戒する必要がある。

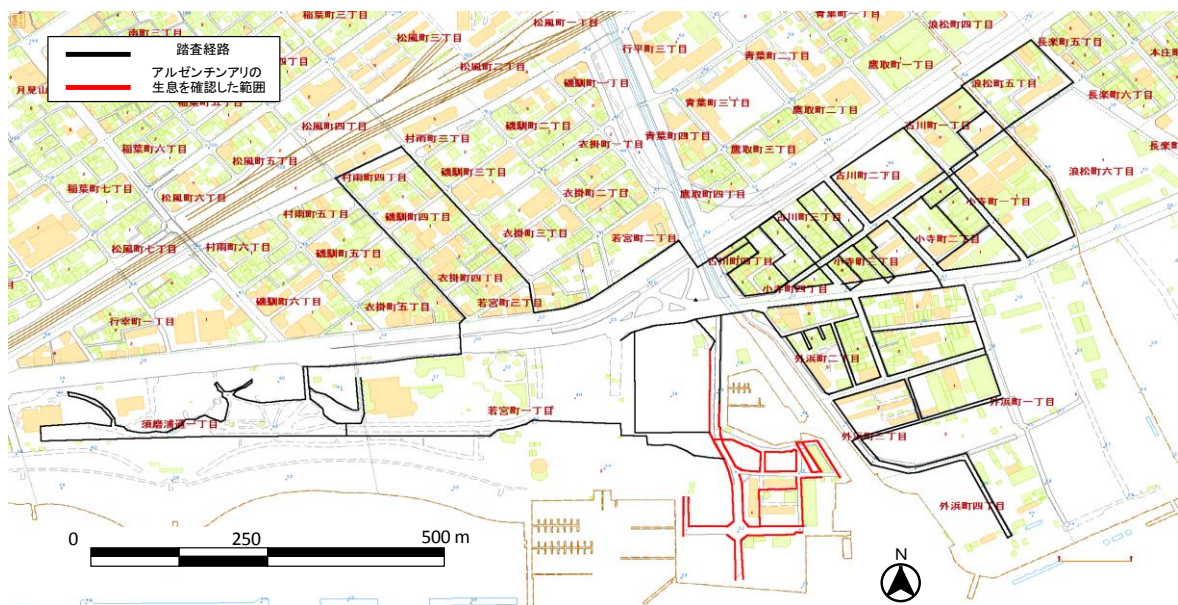


図 21 須磨海浜公園におけるアルゼンチンアリ生息確認範囲

(国土地理院の基盤地図 2500 を使用した)

タ. 福岡空港

- ・踏査日 2012年10月17日(雨、最高気温22.0℃ 最低気温17.7℃)
- ・踏査経路 図22を参照
- ・踏査距離 18.2km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ケブカアメイロアリ(外)、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオシワアリ、オオハリアリの合計5種のアリ類の生息を確認した。

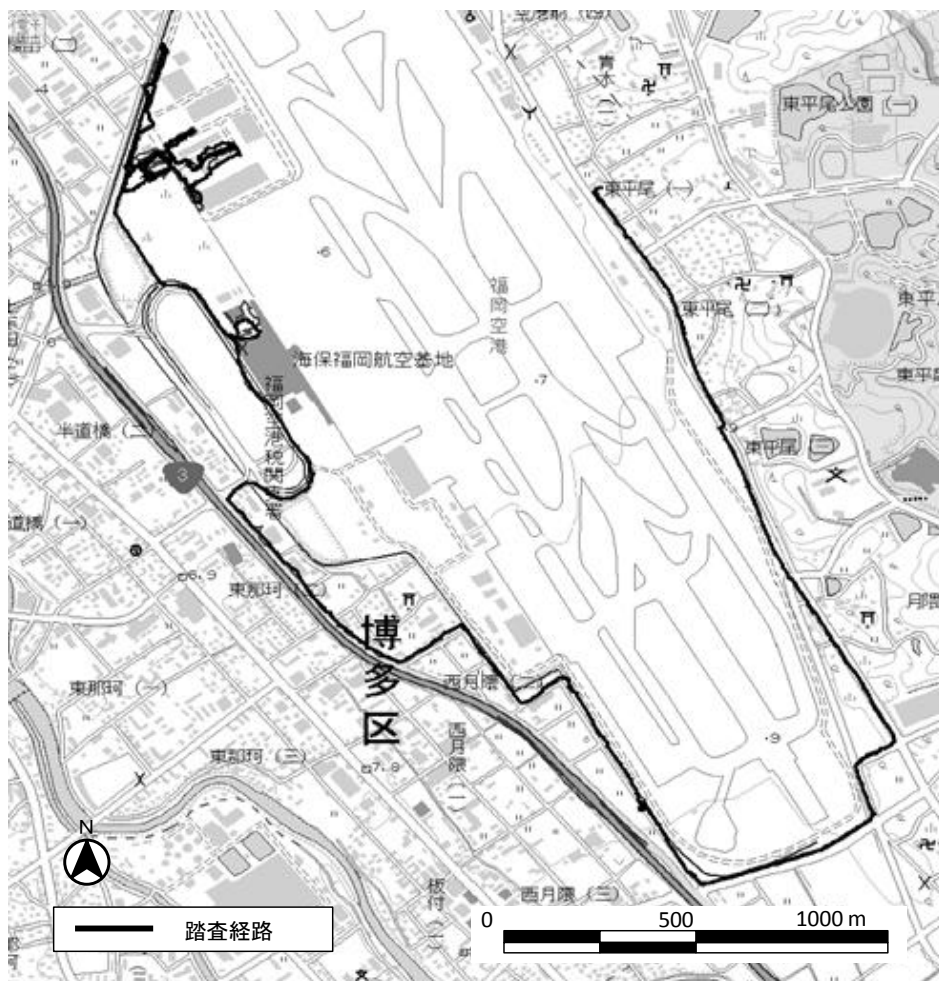


図22 福岡空港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

チ. 博多港 箱崎埠頭

- ・踏査日 2012年10月19日(晴れ、最高気温22.6℃ 最低気温14.3℃)
- ・踏査経路 図23を参照
- ・踏査距離 25.1km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、インドオオズアリ(外)、クロヤマアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、の合計4種のアリ類の生息を確認した。



図23 博多港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ツ. 佐世保港

- ・踏査日 2012年10月18日(晴れ、最高気温20.6℃ 最低気温16.5℃)
- ・踏査経路 図24を参照
- ・踏査距離 20.5km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ケブカアメイロアリ(外)、インドオオズアリ(外)、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、オオハリアリ、テラニシシリアゲアリの合計8種のアリ類の生息を確認した。

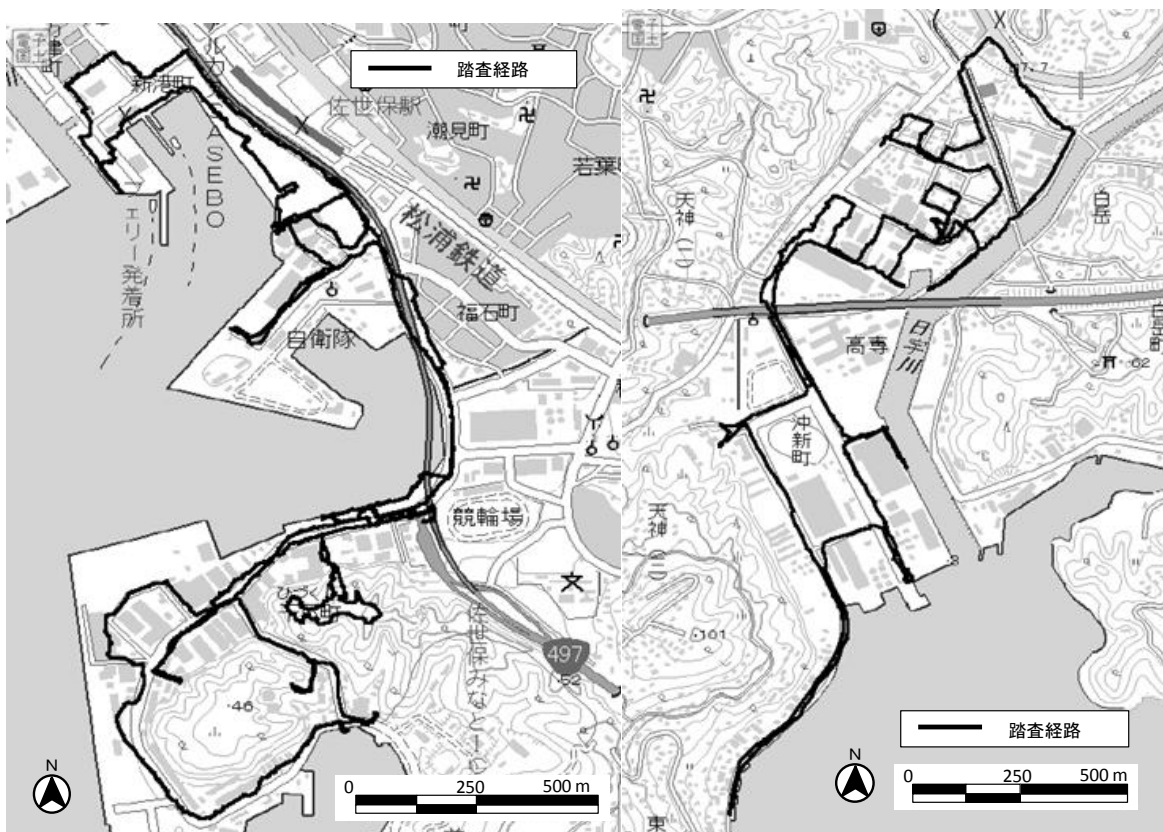


図24 佐世保港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

テ. 伊万里港

- ・踏査日 2012年10月18日(晴れ、最高気温19.7℃ 最低気温14.6℃)
- ・踏査経路 図25を参照
- ・踏査距離 16.1km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、アミメアリ、オオシワアリ、オオハリアリの合計5種のアリ類の生息を確認した。



図25 伊万里港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)

ト. 那覇港・那覇空港周辺

- ・踏査日 2012年12月20日（雨のち晴れ、最高気温 20.3℃ 最低気温 14.4℃）
- ・踏査経路 図 26 を参照
- ・踏査距離 51.6km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ケブカアメイロアリ（外）、ヒゲナガアメイロアリ（外）、ツヤオオズアリ（外）、アシナガキアリ、アワテコヌカアリ、オオシワアリの合計6種のアリ類の生息を確認した。



図 26 那覇港踏査路

（国土地理院の電子国土 web システムを使用した）

ナ. 石垣港

- ・踏査日 2012年12月20日（雨のち晴れ、最高気温 25.2℃ 最低気温 19.0℃）
- ・踏査経路 図 27 を参照
- ・踏査距離 29.7km
- ・踏査人員 2名

モニタリングの結果、特定外来生物に指定されているアリ類の生息は確認されなかった。その他の対象種として、ヒゲナガアメイロアリ（外）、ツヤオオズアリ（外）、アシナガキアリ、アワテコヌカアリ、ルリアリ、オオシワアリの合計約6種のアリ類の生息を確認した。

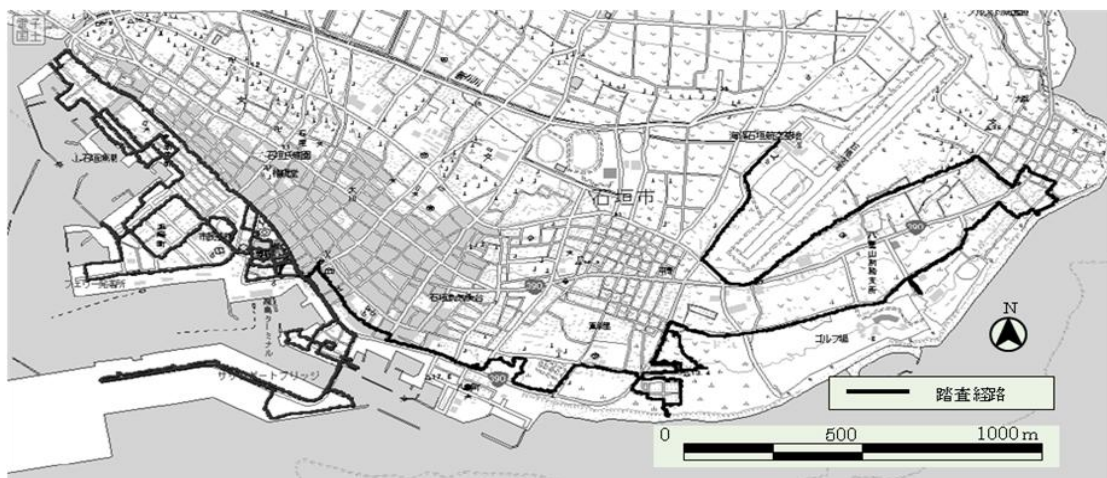


図 27 石垣港踏査路

(国土地理院の電子国土 web システムを使用した)